

# 検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報[号外] 2010年6月14日 発行 日本鉄道労働組合連合会(JR連合)【No.123】

## 民主党政権の答弁書は「事実無根」「誹謗中傷」と訴えるJR総連

民主党政権がJR総連・東労組内への革マル派活動家の浸透を認める答弁書を閣議決定したことで、JR総連は5月20日に「『政治活動への妨害』に対する要請書」なる以下の意味不明な文書を民主党に提出し「各方面への適切なご指導と特段の処置」を要請した。

さて、私たちJR総連の組合員である「たしろかおる」は、去る、3月3日に民主党参議院比例代表予定候補者として公認をいただき、民主党の支持者拡大と自らの知名度をあげるべく、民主党ならびに本人の政策を全国各地で精力的に訴えるなど、日夜奮闘しています。その真っ只中において、「政治活動への妨害」を意図した動向が発生しています。4月27日、自民党の佐藤勉衆議院議員から『革マル派によるJR総連及びJR東労組への浸透に関する質問主意書』が提出されました。これに対して政府は、5月11日の閣議で自民政権時代の見解を踏襲した『答弁書』を決定しました。さらに、この『答弁書』を利用した誹謗・中傷がおこなわれています。これらの妨害行為は、JR総連や「たしろかおる」のみならず、「たしろかおる」を公認した民主党へも向けられているものと断ぜざるを得ません。したがって、JR総連は、遺憾の意を表するとともに、かかる状況に鑑み、適切なご指導をお願い申し上げます。

記

1. 5月11日に閣議決定された『答弁書』では、「(中略)全日本鉄道労働組合総連合会(以下「JR総連」という。)及び東日本旅客鉄道労働組合内には、影響力を行使し得る立場に革マル派活動家が相当浸透していると認識している。」としていますが、これは事実無根であり、JR総連およびJR東労組を誹謗・中傷するものです。
2. 佐藤勉衆議院議員の『質問主意書』は、明らかに参議院議員選挙を意識した内容であると思われます。特に、佐藤勉議員の選挙区は、参議院議員選挙において激戦が予測されている栃木県です。「たしろかおる」が民主党参議院比例区第78総支部長として、栃木県宇都宮市に事務所を開設したことが関係しているものと思われます。
3. 『答弁書』は、労働組合への弾圧を意図した自民政権時代の見解を踏襲した内容であり、起死回生を策す自民党や佐藤勉議員による「民主党の政治活動への妨害行為」を助長するものと言わざるを得ません。
4. JR総連は、組織内予定候補者としての「たしろかおる」の躍進を期すると同時に、民主党の支持者拡大をはかるべく、組織の総力をあげて奮闘している真っ只中にあります。したがって、『答弁書』での誹謗・中傷は、奮闘している組合員の神経を逆撫でするものです。
5. また、このたびの事態に際して、同じ連合に加盟し、民主党を支持するJR連合は、組織の広報紙である『民主化闘争情報』において『答弁書』を利用し、JR総連への誹謗・中傷をおこなっています。その行為は、JR総連や「たしろかおる」のみならず、「たしろかおる」を公認した民主党へも向けられた「政治活動への妨害」です。
6. したがって、「たしろかおる」およびJR総連の「政治活動への妨害行為」が発生することがないよう、各方面への適切なご指導と特段の処置を要請します。

### 民主党政権の答弁書に異論があるなら政府に抗議してはどうか！

意味不明な要請書であるが、JR総連は「事実無根」「JR総連およびJR東労組を誹謗・中傷するもの」「労働組合への弾圧を意図した自民政権時代の見解を踏襲した内容」と訴え、政府見解を否定している。異論があるなら、政府に直接抗議すべきではないのか。また、事実無根というなら、社会が納得できる形で実態を徹底調査し結果を説明すべきだ。

「検証・JR革マル浸透と組織私物化の実態！」はJR連合ホームページに掲載中！ <http://homepage1.nifty.com/JR-RENGO>